

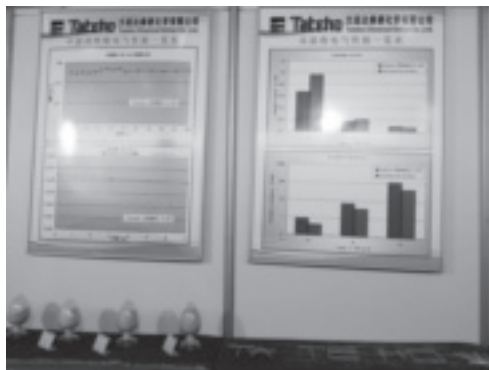
第9回広州国際電熱設備投資技術展（8/19～21）開催

中国電熱業界最大規模の展示会、3万人来場 大連タテホ化学3回目の出展、大連製品をアピール

第9回広州国際電熱設備投資技術展
覧会（GHEHE2013）が2013年8月19日～21日に中国広州市中国進出口交易会琶州展館で開催された。タテホ化学工業グループ企業である大連タテホ化学

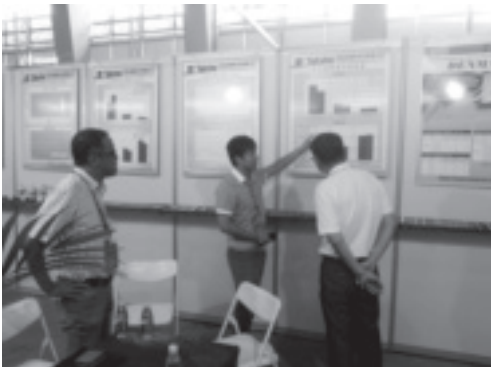


展示会でのタテホ化学のブース



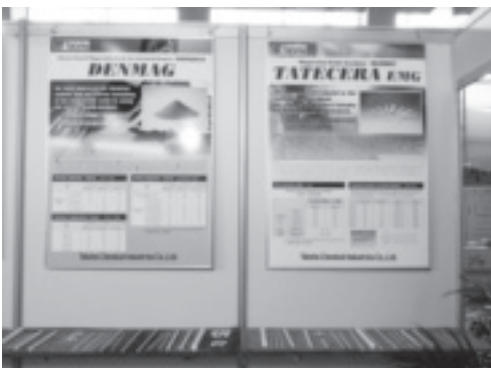
中国語で展示されたパネル

が第3回目の出展をした。
同展示会は、中国電熱業界の最大規模であり、2005年から連続開催されてきた。産業用各種電気ヒーター、電気炉から電熱関連の家電製品、材料として酸化マグネシウム、各種パイプ・チューブ、溶接機、切断機など幅広い分野にわたるのが特徴である。展示スペースは、4万㎡、3万人が訪れた。全般的には中国経済減速の影響



ブースでの説明

響も感じたが、依然として電熱ヒーターへのニーズは高い。
大連タテホ化学は、マグネシウムパウダー、マグネシウム碍子等を出展した。同社のブースには地元中国の各地企業その他、台湾、ブラジル、インドなどのユーザーが訪れ、活発な商談が行われた。
中国のマグネシア市場は、安価な国産製品が優位を占めているものの、産業分野では、高性能のヒーターやカートリッジヒーターの必要性が増してきており、高絶縁、高寿命の高品質マグネシアのニーズが高まってきている。



英文で展示されたパネル

高品質マグネシアは大連タテホ化学が得意とするだけに中国を始め、インド、ブラジルなど新興国への展開が期待されている。
中国経済成長率は緩やかになったものの、日常生活に欠かすことの出来ない電熱ヒーターの潜在市場は依然として莫大であり、今後は、品質や性能の向上の必要性が増す傾向にある。それだけに、大連タテホ化学の重要性はますます高くなる展示会で感じられる結果となった。